



令和3年度企業局事業の決算がまとまりました

- 地方公営企業法第30条第1項の規定により、令和3年度事業の決算をとりまとめました。
- 電気、水道両事業ともに、純利益を計上しました。

1 各事業の状況

（ ）内は令和3年度当初予算数値

○ 電気事業

流入量の減少等により、電力量は予算及び前年度を下回りました。

純利益は、前年度を下回ったものの、予算を上回りました。

区 分	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	増 減 (a-b)	(a/b)
電 力 量	3億1,501万4千kWh (3億3,490万kWh)	3億2,506万4千kWh	△1,005万kWh	96.9%
純 利 益 (税抜き)	7億3,800万4千円 (4億3,260万6千円)	9億659万8千円	△1億6,859万4千円	81.4%

○ 水道事業

給水量は、末端給水事業では戸当たり水量の減少により、予算は上回ったものの、前年度を下回りました。用水供給事業では、降雨による送水制限により、予算、前年度決算をともに下回りました。

純利益は、水道事業全体で前年度を下回ったものの、予算を上回りました。

区 分	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	増 減 (a-b)	(a/b)
給 水 量	末端 1,925万8千m ³ (1,912万m ³)	1,933万3千m ³	△7万5千m ³	99.6%
	用水 2,934万2千m ³ (2,956万5千m ³)	2,938万m ³	△3万8千m ³	99.9%
純利益 (税抜き)	6億4,679万8千円 (1億6,072万7千円)	7億5,346万3千円	△1億666万5千円	85.8%

※ 詳細は、別紙1 及び 別紙2 のとおりです。

2 経営比較分析表

○ 趣 旨

企業局の経営状況を的確に把握するとともに、「見える化」を図るため、決算に合わせて作成・公表するものです。

○ 概 要

■ 経常収支比率（経常損益）

電気、水道両事業ともに、継続して100%を超えており「経営の健全性」が確保されています。

■ 流 動 比 率（短期的な支払能力）

電気、水道両事業ともに、継続して100%を超えており「支払能力」が確保されています。

■ 有形固定資産減価償却率（資産の老朽化度合）

電気、水道両事業ともに、長野県公営企業経営戦略に基づき、計画的な施設更新に努めています。

※ 詳細は、別紙3 のとおりです。



水の恵みを 未来へつなぐ

長野県企業局



企業局 経営推進課 財務係

(課長) 竹花 顕宏
(担当) 矢島 章就 井口 健太

電 話 026-235-7384 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線3917

F A X 026-235-7388

E-mail kigyo@pref.nagano.lg.jp